

**\*注 意**

口腔内やその周辺からの出血がある場合は、胸骨圧迫（心臓マッサージ）のみ実施することも考慮する

# 心肺蘇生法 乳児（1歳未満）

119番受信

- ・どうしました？（息をしていない・心臓がとまっているようです）  
\*住所・氏名・年齢・電話番号等の確認
- ・わかりました、すぐに救急車を出場させます。  
折り返し電話をしますので、一度電話を切ります。そのまま電話のところでお待ち下さい

- ・救急車はもう向かっています
- ・今から応急手当の方法を言いますので落ち着いて聞いて下さい

反応（意識）の確認

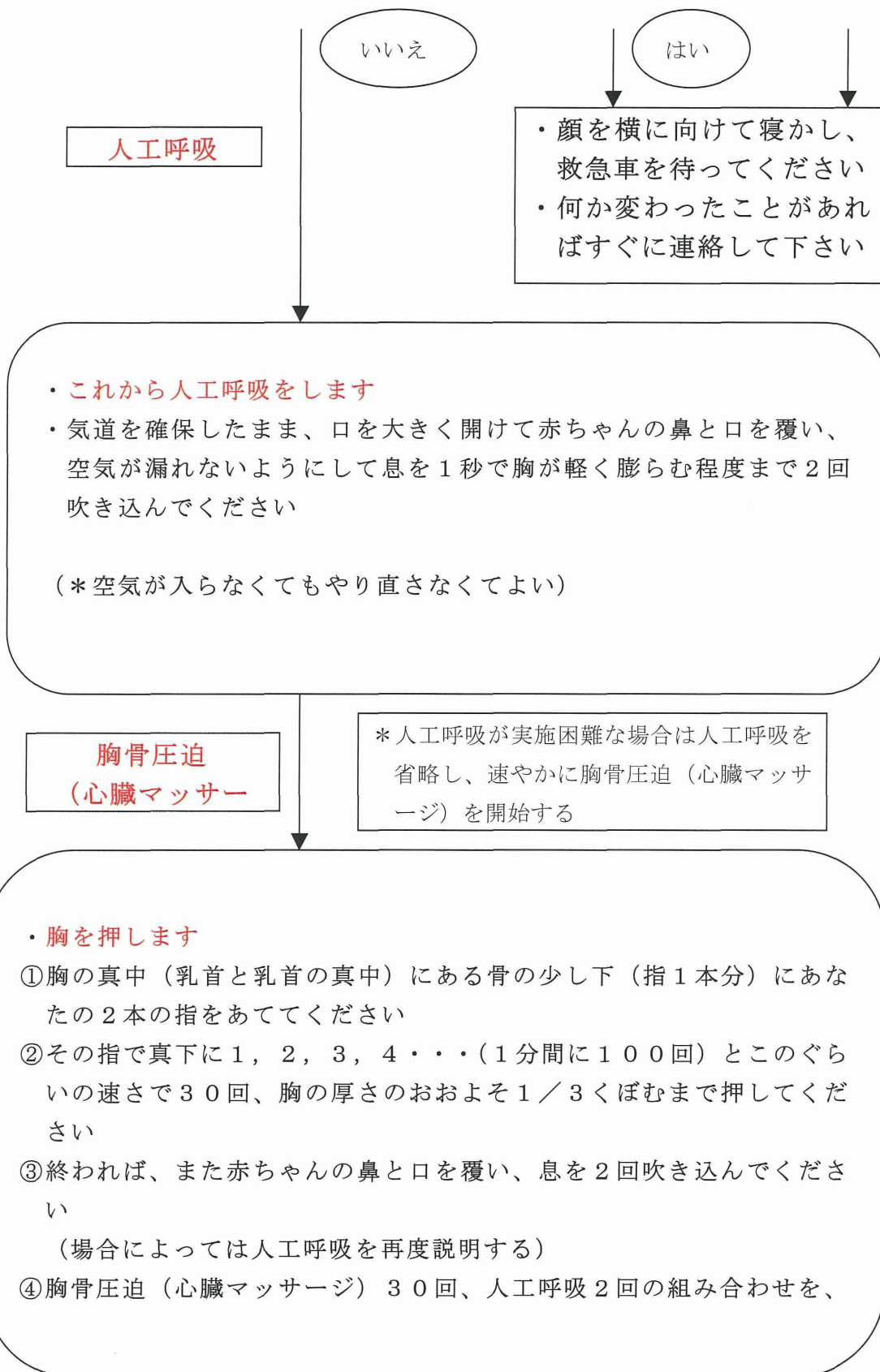
- ・赤ちゃんの体を仰向けに寝かせて下さい
- ・大きな声で呼びかけたり、体をつねると目元や手足を動かしますか？

はい

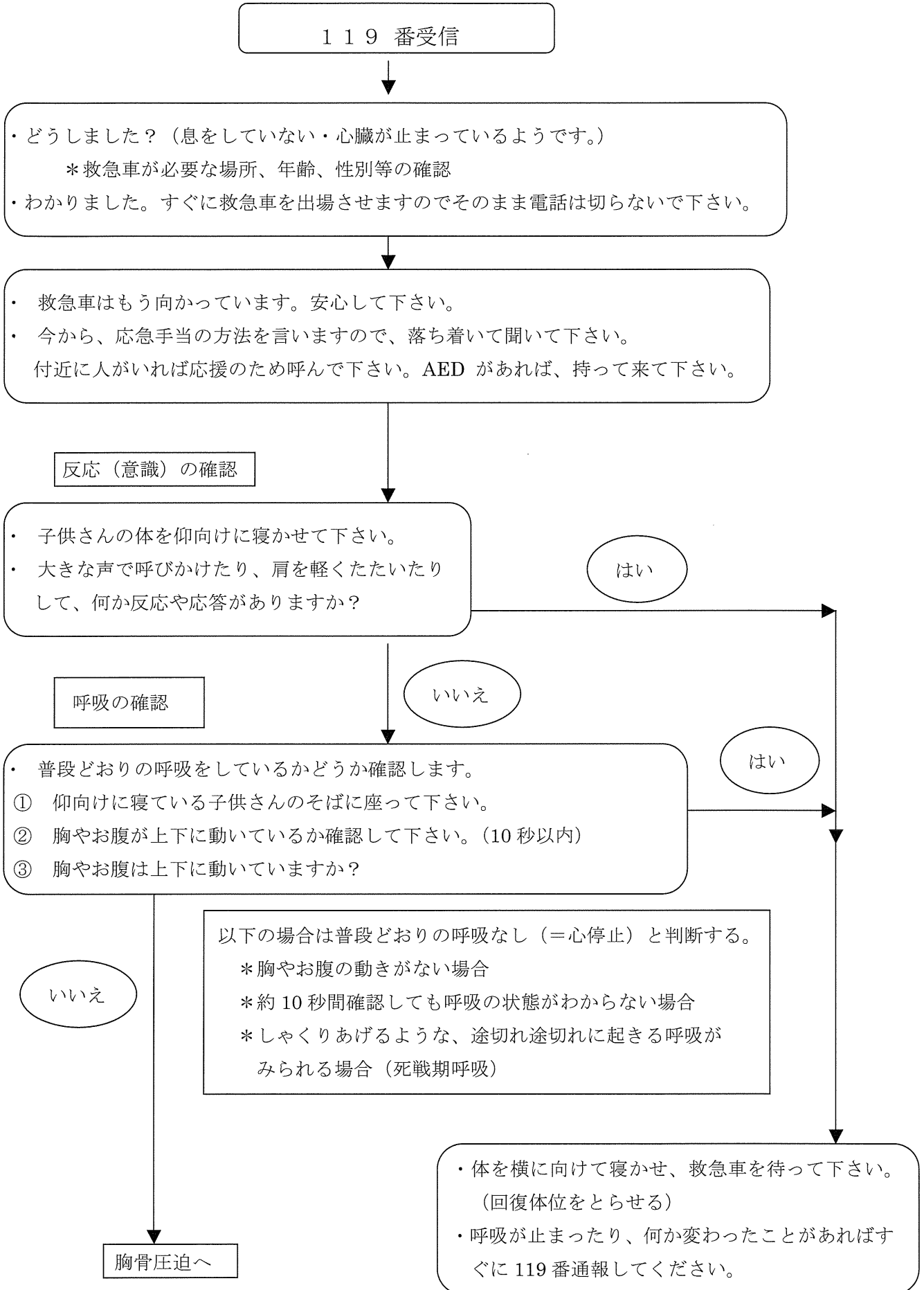
気道確保・呼吸の確認

いいえ

- ・ **普段どおりの息をしているかどうか確認します**
- ①仰向けに寝ている赤ちゃんの横（右側）に座って下さい
- ②片方の手をおでこ（額）にあて軽く頭を後ろに反らしながら、もう片方の手で顎の先を持ち、上にあげて気道の確保をして下さい
- ③そのままの状態（気道確保したまま）で、顔を赤ちゃんのお腹の方に向け、頬を子供の口に近づけてください
- ④吐く息は感じますか？胸やお腹は動いていますか？



心肺蘇生法・小児（1歳から15歳まで）



胸骨圧迫（心臓マッサージ）

- これから胸骨圧迫（心臓マッサージ）をします。
- ① 胸の真ん中（左右の真ん中で、かつ、上下の真ん中）にある骨に片方の手の平の付け根をあててください。
  - ② もう一方の手を重ねてください。両手の指を互いに組むと、より力が集中します。（体格に応じて、片手で行う方法を指導する。）
  - ③ 肘をまっすぐ伸ばして手の平の付け根の部分に体重をかけ真上から垂直に、少なくとも胸の厚さの1/3が沈む強さで押してください。
  - ④ 胸を押す速さ（テンポ）は、少なくとも1分間に100回の速さ、1、2、3、4…で、30回連続して、絶え間なく押してください。
  - ⑤ 周りに他の人がいれば、1～2分間程度で胸骨圧迫を交代してください。
  - ⑥ できるだけ中断しないようにしてください。

人工呼吸（口対口人工呼吸）

\*状況により省略可能

溺水等の窒息が疑われる場合で救助者が口対口人工呼吸を出来るようであれば人工呼吸の指導をするが、傷病者の顔面や口から出血している場合や救助者が口対口人工呼吸をためらう場合は人工呼吸を省略し、胸骨圧迫（心臓マッサージ）のみを続ける。

また、口対口人工呼吸を行う場合は感染防護具を使用することが望ましい。

\*人工呼吸による胸骨圧迫の中断時間をできるだけ短くなるようにする。

続いて、人工呼吸をします。

- ① 片方の手をおでこ（額）にあて軽く頭を後ろに反らしながら、もう片方の手で顎の先を持ち、上にあげて気道の確保をしてください。
- ② 気道を確保したまま、おでこ（額）にあてた手の親指と人差指で患者さんの鼻をつまんでください。
- ③ 口を大きくあけて、子供さんの口を覆い空気が漏れないようにして、息を約1秒かけて胸が持ち上がるまで吹き込んでください。
- ④ いったん口を離し、同じ方法でもう一度吹き込んでください。（\*うまく空気が入らなくてもやり直さなくてよい。）
- ⑤ 終われば、胸骨圧迫（心臓マッサージ）30回、人工呼吸2回の組み合わせ（心肺蘇生）を、救急車が到着するか、子供さんが目を開けたり、普段どおりの呼吸をし始めるまで繰り返し行ってください。

AED 到着へ

\*AED が届いたら、すぐに使う準備を始めること。

AED 到着

1 AED を使用します。

- ① AED を子供さんのそばに置いて下さい。
- ② AED のふたを開けて、電源ボタンを押して下さい。ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。
- ③ 電源が入ったら、音声メッセージと点滅するランプに従って操作して下さい。
- ④ 子供さんの衣服をはだけて、電極パッドを貼り付けて下さい。
- ⑤ 電極パッドを貼り付ける位置は電極パッドに絵で表示されています。肌とのすき間を作らないようにしっかりと貼り付けて下さい。アクセサリを身につけていれば取り除いて下さい。
- ⑥ 可能であれば、電極パッドを貼り付ける際も胸骨圧迫を続けて下さい。
- ⑦ 電極パッドが成人用と小児用の2種類入っていれば、小学生以上の子供さんには成人用パッドを使用し、未就学児には小児用パッドを使用して下さい。

心電図解析

1 自動的に心電図を解析します。子供さんに触れないで下さい。音声メッセージに従って下さい。

除細動

必要あり

- ① 誰も子供さんに触れていないことを確認して、除細動（電気ショック）を行って下さい。
- ② 除細動が終われば、すぐに胸骨圧迫から心肺蘇生を行って下さい。

除細動

必要なし

すぐに、胸骨圧迫から心肺蘇生を行って下さい。

以後、約2分ごとにAEDが自動的に心電図を解析する。

(音声メッセージに従う。)

繰り返し

- \*解析の結果、除細動が必要であれば除細動（電気ショック）を行い、あつすぐに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する。
- \*解析の結果、除細動が不要なれば、すぐに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する。

# 心肺蘇生法・乳児（1歳未満）

119番受信

・ どうしました？（息をしていない・心臓が止まっているようです。）  
\* 救急車が必要な場所、年齢、性別等の確認  
・ わかりました。すぐに救急車を出場させますのでそのまま電話は切らないで下さい。

・ 救急車はもう向かっています。安心して下さい。  
・ 今から、応急手当の方法を言いますので、落ち着いて聞いて下さい。  
付近に人がいれば応援のため呼んで下さい。AEDがあれば、持って来て下さい。

反応（意識）の確認

・ 赤ちゃんの体を仰向けに寝かせて下さい。  
・ 大きな声で呼びかけたり、足の裏を刺激して、何か反応がありますか？

はい

呼吸の確認

いいえ

・ 普段どおりの呼吸をしているかどうか確認します。  
① 仰向けに寝ている赤ちゃんのそばに座って下さい。  
② 胸やお腹が上下に動いているか確認して下さい。（10秒以内）  
③ 胸やお腹は上下に動いていますか？

はい

いいえ

以下の場合に普段どおりの呼吸なし（＝心停止）と判断する。  
\* 胸やお腹の動きがない場合  
\* 約10秒間確認しても呼吸の状態がわからない場合  
\* しゃくりあげるような、途切れ途切れに起きる呼吸がみられる場合（死戦期呼吸）

胸骨圧迫へ

・ 気道の確保して、救急車を待って下さい。  
・ 呼吸が止まったり、何か変わったことがあればすぐに119番通報してください。





- これから胸骨圧迫（心臓マッサージ）をします。
- ① 胸の真ん中（両乳頭を結ぶ線の少し足側）にある骨に片手の指先2本をあてて下さい。
- ② 真上から垂直に、少なくとも胸の厚さの1／3が沈む強さで押して下さい。
- ③ 胸を押す速さ（テンポ）は、少なくとも1分間に100回の速さ、1、2、3、4…で、30回連続して、絶え間なく押して下さい。
- ④ 周りに他の人がいれば、1～2分間程度で胸骨圧迫を交代して下さい。
- ⑤ できるだけ中断しないようにして下さい。

人工呼吸（口対口人工呼吸）  
（口対口鼻人工呼吸）

\*状況により省略可能  
溺水等の窒息が疑われる場合で救助者が口対口人工呼吸を出来るようであれば人工呼吸の指導をするが、傷病者の顔面や口から出血している場合や救助者が口対口人工呼吸をためらう場合は人工呼吸を省略し、胸骨圧迫（心臓マッサージ）のみを続ける。  
また、口対口・口対口鼻人工呼吸を行う場合は感染防護具を使用することが望ましい。  
\*胸骨圧迫より早く人工呼吸がおこなえるのであれば、人工呼吸から心肺蘇生を行う。  
\*人工呼吸による胸骨圧迫の中断時間をできるだけ短くなるようにする。

- 続いて、人工呼吸をします。
- ① 片方の手をおでこ（額）にあて軽く頭を後ろに反らしながら、もう片方の手で顎の先を持ち、上にあげて気道の確保をして下さい。
- ② 気道を確保したまま、おでこ（額）にあてた手の親指と人差指で赤ちゃんの鼻をつまんで下さい。
- ③ 口を大きくあけて、赤ちゃんの口を覆い空気が漏れないようにして、息を約1秒かけて胸が持ち上がるまで吹き込んで下さい。  
（\*体型により、口対口人工呼吸が行いにくい場合は鼻をつまむことなく、口を大きくあけて、赤ちゃんの口と鼻を同時に覆い、上記のとおり息を吹き込む。）
- ④ いったん口を離し、同じ方法でもう一度吹き込んで下さい。  
（\*うまく空気が入らなくてもやり直さなくてよい。）
- ⑤ 終われば、胸骨圧迫（心臓マッサージ）30回、人工呼吸2回の組み合わせ（心肺蘇生）を、救急車が到着するか、子供さんが目を開けたり、普段どおりの呼吸をし始めるまで繰り返して下さい。

AED 到着へ

\*AED が届いたら、すぐに使う準備を始めること。

AED 到着

1 AED を使用します。

- ① AED を赤ちゃんのそばに置いて下さい。
- ② AED のふたを開けて、電源ボタンを押して下さい。ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。
- ③ 電源が入ったら、音声メッセージと点滅するランプに従って操作して下さい。
- ④ 赤ちゃんの衣服をはだけて、電極パッドを貼り付けて下さい。
- ⑤ 電極パッドを貼り付ける位置は電極パッドに絵で表示されています。肌とのすき間を作らないようにしっかりと貼り付けて下さい。
- ⑥ 可能であれば、電極パッドを貼り付ける際も胸骨圧迫を続けて下さい。
- ⑦ 電極パッドが成人用と小児用の2種類入っていれば、小児用パッドを使用して下さい。

心電図解析

1 自動的に心電図を解析します。赤ちゃんに触れないで下さい。音声メッセージに従って下さい。

除細動  
必要あり

- ① 誰も赤ちゃんに触れていないことを確認して、除細動（電気ショック）を行って下さい。
- ② 除細動が終われば、すぐに胸骨圧迫から心肺蘇生を行って下さい。

除細動  
必要なし

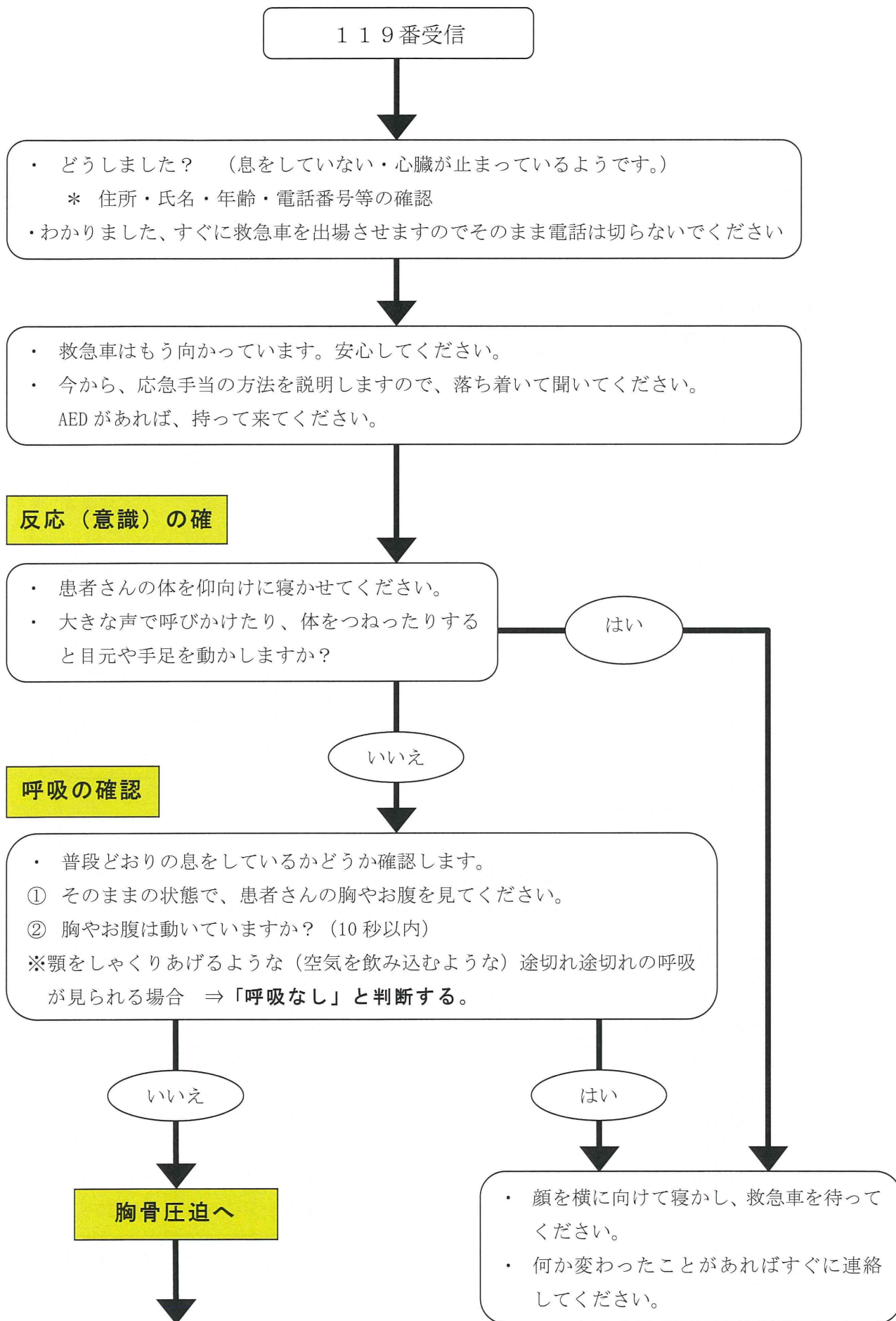
すぐに、胸骨圧迫から心肺蘇生を行って下さい。

以後、約2分ごとにAEDが自動的に心電図を解析する。  
(音声メッセージに従う。)

繰り返し

- \* 解析の結果、除細動が必要であれば除細動（電気ショック）を行い、あとすぐに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する。
- \* 解析の結果、除細動が不要なれば、すぐに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する。

## 心肺蘇生法・成人および小児（1歳以上）



## 胸骨圧迫

- ・ 胸を押します。患者さんの横の肩あたりに座ってください。
- ① 胸の真中にある骨の下半分（左右の真ん中で、かつ、上下の真ん中）に片方の手の平をあててください。
- ② もう一方の手を重ねてください。
- ③ 肘をまっすぐ伸ばし真下に1、2、3、4、（少なくとも100回/分）とこのぐらいの速さで30回体重をかけて、強く（少なくとも5cmの深さ）押しってください。  
※小児にあっては、体格に応じて片手のみの胸骨圧迫も考慮し、圧迫の深さは 胸の厚さの1/3程度とする。

## 人工呼吸

いいえ

・人工呼吸はできますか？

はい

・胸骨圧迫だけを AED 到着または救急車が来るまで絶え間なく続けてください。

- ① 気道確保を行った後に、人工呼吸を2回行ってください。
- ② 終われば、また胸骨圧迫を30回行ってください。
- ③ 胸骨圧迫（心臓マッサージ）30回、人工呼吸2回の組み合わせを、AED 到着または救急車が来るまで絶え間なく繰り返し行ってください。  
※人工呼吸に手間取るようなら、胸骨圧迫のみの実施を指導する。

## AED 到着

電源を入れて下さい。  
又はフタを開けて下さい。

※傷病者が未就学児の場合には小児用パッド又は小児用モードの使用を考慮。ない場合は、成人用のパッドを代用する。

必要あり

心電図解析  
電気ショックの適応

必要な

・ AED の音声メッセージに従ってください。

・ 直ちに CPR を再開してください。  
2分間ごとに流れる AED の音声メッセージに従ってください。

\* 気道確保と人工呼吸については、救命講習等を受講しており説明がなくても、自力で実施が可能な市民にのみ行うように指導する。

## 心肺蘇生法・乳児（1歳未満）

119番受信

- ・ どうしました？（息をしていない・心臓が止まっているようです。）  
\* 住所・氏名・年齢・電話番号等の確認
- ・ わかりました、すぐに救急車を出場させますのでそのまま電話は切らないでください

- ・ 救急車はもう向かっています。安心してください。
- ・ 今から、応急手当の方法を説明しますので、落ち着いて聞いてください。  
AEDがあれば、持って来てください。

### 反応（意識）の確認

- ・ お子さんの体を仰向けに寝かせてください。
- ・ 大きな声で呼びかけたり、体をつねったりすると目元や手足を動かしますか？

はい

いいえ

### 呼吸の確認

- ・ 普段どおりの息をしているかどうか確認します。
- ① そのままの状態でお子さんの胸やお腹を見てください。
- ② 胸やお腹は動いていますか？（10秒以内）
- ※顎をしゃくりあげるような（空気を飲み込むような）途切れ途切れの呼吸が見られる場合 ⇒ 「呼吸なし」と判断する。

いいえ

はい

胸骨圧迫へ

- ・ 顔を横に向けて寝かし、救急車を待ってください。
- ・ 何か変わったことがあればすぐに連絡してください。

## 胸骨圧迫

- ・ 胸を押します。お子さんの横に座ってください。
- ① 赤ちゃんの胸の真中（乳首と乳首の真中）にある骨の真ん中に、あなたの2本の指をあててください。
- ② その指で1, 2, 3, 4（少なくとも100回/分）とこのぐらいの速さで30回、胸の厚さの1/3くぼむまで押ししてください。

## 人工呼吸

いいえ

・人工呼吸はできますか？

はい

・胸骨圧迫だけを AED 到着  
または救急車が来るまで  
絶え間なく続けてください。

- ① それでは、気道確保を行った後に、人工呼吸を2回行ってください。
- ② 終われば、また胸骨圧迫を30回行ってください。
- ③ 胸骨圧迫（心臓マッサージ）30回、人工呼吸2回の組み合わせを、AED 到着または救急車が来るまで絶え間なく繰り返し行ってください。  
※人工呼吸に手間取るようなら、胸骨圧迫のみの実施を指導する。

## AED到着

〔電源を入れて下さい。  
又はフタを開けて下さい。〕

※小児用パッド又は小児用モードの使用を考慮。ない場合は、成人用のパッドを代用する。

必要あり

心電図解析  
電気ショックの適応

必要な

・ AED の音声メッセージに従ってください。

・ 直ちに CPR を再開  
2分間ごとに流れる AED の音声  
メッセージに従ってください。

\* 気道確保と人工呼吸については、救命講習等を受講しており説明がなくても、自力で実施が可能な市民にのみ行うように指導する。

成人及び小児の心肺蘇生プロトコール  
(人工呼吸あり)

初期プロトコールで  
呼吸をしていない

救急車はもう出ています、救急車が到着するまでに、患者さんを助ける  
ためにして頂くことがあります。

傷病者を床や畳の上などに仰向けに寝かせて下さい。  
(ベット上の場合は無理に移動させない)



胸骨圧迫(心臓マッサージ)をします。  
胸の丁度真ん中に、片方の手のひらの付け根部分を乗せて下さい。  
もう片方の手をその手の甲に重ね、肘を真っすぐに伸ばして、  
垂直に真下に力が行くように押して下さい。  
成人:胸板が5cm沈むほど  
小児:両手又は片手で胸板が少なくとも3分の1位沈むほど、  
力強く。  
1分間に少なくとも100回以上のリズムで押して下さい。  
(電話口でリズムを1・2・3・4……と告げる!)  
救急隊がそばに来るまで頑張ってください。



★指導により、応急手当実施者が人工呼吸が出来ない又はためらっていると判断される場合は指導を中止する。

片手を傷病者の額にあて、もう片方の手の人差し指と中指2本を傷病者の  
顎先にあてて、傷病者の頭を鼻の穴が天井を向く位後ろにのけぞらせ、顎  
先を上げる。額に当てた手をずらせて、傷病者の鼻をつまみ、  
そのままの状態でも口を大きく開いて傷病者の口を覆い、空気が漏れないよ  
うにして息を1秒かけて吹き込みます。  
一旦口を離して、もう一度吹き込みます。

AEDがある場合は次に進む

AEDの電源を入れ(入っているのを確認し)AEDの指示に従ってください。  
(電源の入れ方やパッドの貼付けが分からない様であれば指示する)



解析

ショック必要

ショック不要

傷病者の体に誰も触れないようにして、点滅ボタンを押し  
ます。その後すぐに胸骨圧迫を再開して下さい。  
続けながら、AEDの指示に従ってください。

すぐに、胸骨圧迫を再開して下さい。  
続けながら、AEDの指示に従ってください。

乳児の心肺蘇生プロトコール  
(人工呼吸あり)

初期プロトコールで  
呼吸をしていない

救急車はもう出ています、救急車が到着するまでに、お子さんを助けるためにして頂くことがあります。

傷病者を床や畳、又は膝の上などに仰向けに寝かせて下さい。

胸骨圧迫(心臓マッサージ)をします。  
両乳頭を結ぶ線の少し足側を目安にして胸の真ん中に手の指2本の先の腹を置き、その指で胸を押して下さい。  
胸板が少なくとも3分の1位沈むほど、力強く。  
小さいお子さんでも大丈夫です。強く押さないと効果がありません。  
少なくとも1分間に100回以上のリズムで押して下さい。  
**(電話口でリズムを1・2・3・4……と告げる！)**  
救急隊がそばに来るまで頑張って続けて下さい。

空気が通りやすいようにします。お子さんの頭を後ろに反らせ、お子さんの自分の口を大きく開け、口と鼻を同時に覆います。  
そして、1秒かけて息を吹き込みます。  
一旦口を離し、もう一度吹き込んで下さい。

AEDがある場合は次に進む

AEDの電源を入れ(入っているのを確認し)AEDの指示に従って下さい。  
小児用パッドがあればそれを使用しましょう。

(電源の入れ方やパッドの貼付けが分からない様であれば指示する)  
電極/パッドが重ならないように注意  
胸と背中に貼る方法も考慮する。

解析

ショック必要

ショック不要

傷病者の体に誰も触れないようにして、点滅ボタンを押します。その後すぐに胸骨圧迫を再開して下さい。  
続けながら、AEDの指示に従って下さい。

すぐに、胸骨圧迫を再開して下さい。  
続けながら、AEDの指示に従って下さい。



## 成人と小児の心肺蘇生プロトコール

初期プロトコールで  
呼吸をしていない

口頭指導では「JRC蘇生ガイドライン2010」で胸骨圧迫の重要性が再確認されました。よって早期から十分な強さと速さで絶え間なく行われ、より質の高い胸骨圧迫を続けなければなりません。人工呼吸の正しい指導は時間を要し胸骨圧迫の中断時間が延長する恐れが大きいため、人工呼吸の指導を省略します。

救急車はもう出ています、救急車が到着するまでに、傷病者を助けるためにして頂くことがあります。

傷病者を床や畳の上などに仰向けに寝かせて下さい。  
(ベット上の場合は無理に移動させない)

胸骨圧迫(心臓マッサージ)をします。  
胸の丁度真ん中に、片方の手のひらの付け根部分を乗せて下さい。  
もう片方の手をその手の甲に重ね、肘を真っすぐに伸ばして、  
垂直に真下に力が行くように押して下さい。  
(小児に対しては片手で押す方法も考慮)  
胸板が少なくとも5cm位沈むほど、力強く。(小児は胸板の3分の1)  
このリズムで押して下さい。  
**(電話口でリズムを1・2・3・4……と告げる！)**  
**少なくとも1分間に100回以上**  
救急隊がそばに来るまで頑張って続けて下さい。

AEDがある場合は次に進む

AEDの電源を入れ(入っているのを確認し)AEDの指示に従って下さい。  
(電源の入れ方やパッドの貼付けが分からない様であれば指示する)

解析

ショック必要

ショック不要

傷病者の体に誰も触れないようにして、点滅ボタンを押します。その後すぐに胸骨圧迫を再開して下さい。  
続けながら、AEDの指示に従って下さい。

すぐに、胸骨圧迫を再開して下さい。  
続けながら、AEDの指示に従って下さい。

## 乳児の心肺蘇生プロトコール

初期プロトコールで呼吸をしていない

口頭指導では「JRC蘇生ガイドライン2010」で胸骨圧迫の重要性が再確認されました。よって早期から十分な強さと速さで絶え間なく行われ、より質の高い胸骨圧迫を続けなければなりません。人工呼吸の正しい指導は時間を要し胸骨圧迫の中断時間が延長する恐れが大きいため、人工呼吸の指導を省略します。

救急車はもう出ています、救急車が到着するまでに、お子さんを助けるためにして頂くことがあります。

傷病者を床や畳、又は膝の上などに仰向けに寝かせて下さい。

胸骨圧迫(心臓マッサージ)をします。  
乳首と乳首を結ぶ線の少し足側を目安にして、胸の丁度真ん中に片方の手の指2本を置き  
その指2本で胸を押して下さい。  
胸板が少なくとも3分の1位沈むほど、力強く。  
小さいお子さんでも大丈夫です。力が弱いと効果がありません。  
このリズムで押して下さい。  
**(電話口でリズムを1・2・3・4……と告げる！)**  
**少なくとも1分間に100回以上！**  
救急隊がそばに来るまで頑張ってください。

AEDがある場合は次に進む

AEDの電源を入れ(入っているのを確認し)AEDの指示に従ってください。  
小児用パッドがあればそれを使用しましょう。  
(電源の入れ方やパッドの貼付けが分からない様であれば指示する)  
電極パッドが重ならないように注意！  
胸と背中に貼る方法も考慮する。

解析

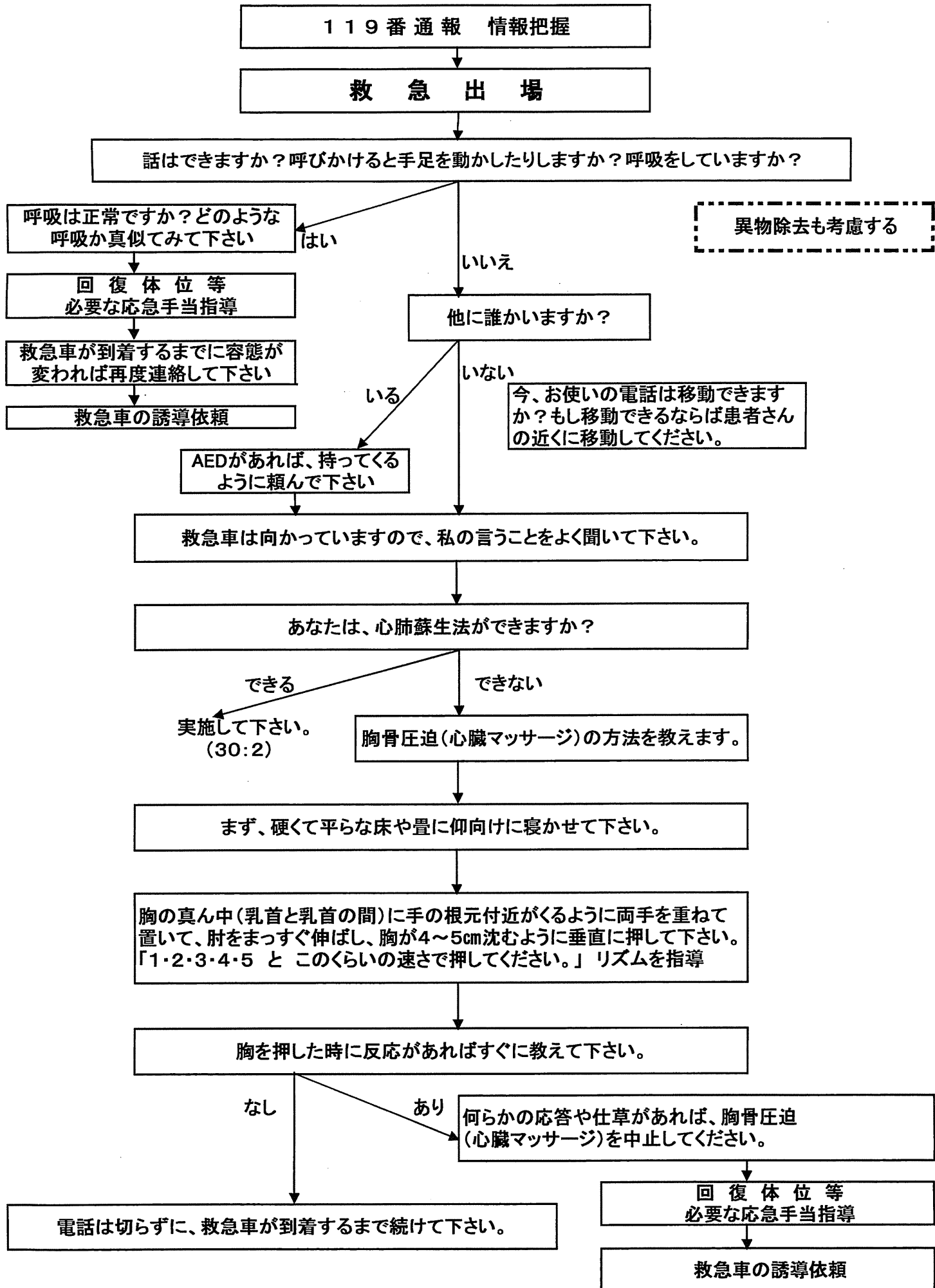
ショック必要

ショック不要

傷病者の体に誰も触れないようにして、点滅ボタンを押します。その後すぐに胸骨圧迫を再開して下さい。  
続けながら、AEDの指示に従ってください。

すぐに、胸骨圧迫を再開して下さい。  
続けながら、AEDの指示に従ってください。

# 心肺蘇生法（成人） 8歳以上



## 心肺蘇生法(成人・8歳以上が対象)口頭指導の詳細

反応の確認	<p>患者の肩を軽く叩いたり、大きな声でよびかける。何らかの応答や仕草があれば反応があると判断する。 例:「目を開けてくださいの呼びかけで開眼する。」など</p>
気道の確保	<p>患者の肩あたりの横に座り、患者の頭側(おでこ)に手をあて、もう一方の手の指2本で顎先を上を持ち上げ、頭を後ろにそらせてください。</p>
呼吸の確認	<p>気道確保をしたままの状態、あなたの頬と耳を患者の鼻と口に近づけてください、息の音が聞こえますか、頬で感じられますか、あなたの目で見て患者の胸やおなかは動いていますか。(10秒以内で確認) * 死戦期呼吸(あえぎ呼吸とは顎と、のど仏が上下する様子でいかにも呼吸している様に見える)は呼吸停止と判断すること。</p>
異物の確認	<p>目に見える異物は取り除く。原則として可能であれば腹部突き上げ法(ハイムリック法)を優先して指導する。* 気道異物による窒息が原因であると判明していても異物除去が不可能であれば、こだわることなく胸骨圧迫(心臓マッサージ)を指導する。</p>
人工呼吸	<p>気道確保をしたままの状態患者の頭側(おでこ)に当てている手で患者の鼻をつまんでください。あなたの口を患者の口より大きく開けて覆いかぶせて、息を吹き込んでください。患者の胸が軽く膨らむ程度で1回1秒ぐらいで2回吹き込んでくださいと指導する。 * 人工呼吸については省略が可能。</p>
胸骨圧迫 心臓マッサージ	<p>胸の真ん中(乳首と乳首の間)にある太い骨(胸骨)の上に片方の手の付け根付近を当て、もう一方の手を重ねて置いて、肘をまっすぐ伸ばし、胸が4~5cm沈むように垂直に押し下さい。 「1・2・3・4・5 と このくらいの速さで押してください。」リズムを指導 * 1分間に100回のリズムで絶え間ない胸骨圧迫が重要である。</p>
CPR	<p>胸骨圧迫「1・2・3・4・5 と このくらいの速さで30回押してください。」と人工呼吸を繰り返すように指導する。</p>
AED	<p>AEDが到着すれば、まず電源を入れて、後は音声メッセージに従うように指導する。 * 小児用のパッドを使用してはならない。</p>